

競技注意事項

1. 本大会は 2016 年日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 競技場使用の注意

① ウォームアップは、補助競技場を使用すること。ただしやり投げは本競技場にて 8:00 より 9:30 まで。また、補助競技場においては 9:00 から 10:20 まで使用できる。練習場係の指示に従い事故のないよう使用すること。

② 競技用シューズについては競技規則 143 条を適用する。

③ トレーナー活動は本競技場室内走路とする。

3. 招集について

① 招集所はスタート側第 1 ゲート入口に設ける。

② 招集時間は、競技日程表による。

③ 競技者は招集完了時刻にナンバーカード・スパイクシューズ・持ち物等の確認を受け競技者係の誘導により競技場に入る。

④ リレー競技に出発するチームは、その種目の開始時間 1 時間前までに、用意されたオーダー用紙に走者順を記入し、競技者係に提出する。

⑤ 招集時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとみなし処理する。

4. 競技について

競技日程表に示される通り、午前 9 時 00 分から小中学生種目。午後 1 時 00 分から一般種目を実施する。競技運営実施に当たっては通常の大会運営として行う。

[トラック競技]

① 男子 100m・小中学生 4×100m 以外の競技は予選を実施せず、すべて決勝レースとする。

② 男子 200m・女子 100m・男子 110mH・女子 100mH はチャレンジレースを実施する。（それぞれの種目の決勝に出場した選手はもう一度記録にチャレンジすることのできるレース。）ただし・レーン順は決勝結果をもとに番編するものとする。

③ 一般種目の 100m・200m・110mH・100mH はバックストレートを使用する場合がある。判断は大会総務が行い出場選手には各種目の招集時間に連絡する。

④ 中学生男女の3000mはグループスタートとする。

[フィールド競技]

① 投てき競技は主催者が用意した用器具を使用する。ただし、やり投は10日午前9時00分～10時00分に検査を受けたものについて個人のものを使用できる。

② 男子棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

種目	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	以降
男子棒高跳	4m50	4m60	4m80	4m90	5m00	5m10	5m20	5m30	5m40	10cmずつ上げる

③ 小学生男女走り幅跳びの試技数は3回とし順位を決定する。(トップ8は実施しない)

④ 競技終了後、決勝に進んだ選手はミックスゾーンを通過し審判員の指示を受けること。

5. ナンバーカードについて

① ナンバーカードは主催者が交付したものを使用し、配布された大きさでつけること。

② トラック競技に出場する競技者は、写真判定用の腰ナンバー標識(招集所で競技者係より配布)をパンツの右横や後方につけること。

6. ドーピングコントロール検査について

国際陸上競技連盟アンチ・ドーピング規則および規定、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づいて行われる。

① 競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。

② TUE申請

禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例(TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ(<http://www.jaaf.or.jp/medical/index.html>)、又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ(<http://www.playtruejapan.org/>)を確認すること。

③ 未成年競技者親権者からのドーピング検査に対する同意書の取得

2015年1月1日より、世界アンチ・ドーピング規程、国際基準、及び日本アンチ・ドーピング規程が改定され、未成年(20歳未満)競技者が競技会に参加する際、親権者からドーピング検査に関する同意書を取得する事が必要となる。

- a) 本大会に参加する未成年者は、同意書を熟読し、署名、捺印の上、同意書の原本を大会に持参し、携帯すること。同意書は <http://www.jaaf.or.jp/pdf/doisho.pdf> からダウンロード出来る。
- B) 未成年競技者はドーピング検査に指名された時に、原本をドーピング検査室にて NFR（大会医事代表）に提出すること。提出は未成年時に 1 回のみで、同意書の提出後に再びドーピング検査に指名された場合は、すでに原本を提出済みである事を NFR に申し出ること。会場において、原本の提出がなくとも、検査は行われるが、検査後 7 日以内に日本陸連事務局に原本を提出すること。

7. その他

- ①商標等について、競技者が競技場に商品名のついた衣類、バックなどを持ち込む場合は、「競技会における広告及び展示物に関する規定」を遵守する。基準をこえた商標については、ガムテープ等を貼って隠す。
- ②トラック種目に関してスタート前に脱衣した衣類等は補助員が袋に入れフィニッシュ地点に運ぶので各自でフィニッシュ後受け取る。
- ③競技者はビデオ、ミュージックプレーヤー、ラジオ、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込んではいない。
- ④競技中の事故等による応急処置は医師が行うが、その後の治療費等は本人負担とする。また、競技者保険等に各自加入しておくことが望ましい。
- ⑤貴重品の管理は各自の責任において行うものとする。
- ⑥やり・ポールの返送を希望する場合は返送受付業者に申し出る。時間・場所などは担当の係から案内する。
- ⑦記録結果、競技写真等の一部を大会公式HPと北海道陸協HPに掲載します。不都合がある場合は大会本部に連絡下さい。
- ⑧インタビューは報道係の指示に従うこと。
- ⑨チーム・個人の横断幕を張る場合はバックストレートスタンド・第一曲走路側スタンドのみとし、それぞれ中段より上部に設置すること。

8. 表彰について

競技終了後、各種目 3 位までに入った選手はミックスゾーンにおいて審判員の指示に従いエントランスホールに移動し待機すること。